

町の地方債（借金）の状況

横芝町との合併が来年3月27日にほぼ決定し、いよいよ合併まで10か月に迫ってきました。そのためか、最近「光町は借金がすごくあると聞いたけど、合併が近いのに大丈夫？」というような問い合わせを受けます。

そこで、光町の地方債の状況を簡単に説明します。説明資料は、平成16年度決算が明らかでないため、平成15年度決算（一般会計）を用います。

〈残高は41・8億円〉

平成15年度末の町の地方債の残高は41・8億円でした。町民一人当たり34万円ということになります。

残高の内訳を見ると、「総務債」は光スポーツ公園やしおさい公園整備のために借り入れた分で、1億円です。「衛生債」は水道事業に関するもので、2・1億円です。「農林水産債」は主に農道整備のために借り入れた分で、1・3億円です。「土木債」は町内主要道路を整備するために借

り入れた分で、8・5億円です。「教育債」は図書館や光中学校建設など教育施設の充実のために借り入れた分で、18・8億円です。

「消防債」0・8億円と合計すると、社会資本整備のための地方債残高は、32・5億円あります。また、社会資本整備以外

地方債残高の内訳
(単位：億円)

1. 普通債	32.5
(1) 総務債	1.0
(2) 衛生債	2.1
(3) 農林水産債	1.3
(4) 土木債	8.5
(5) 消防債	0.8
(6) 教育債	18.8
2. その他債	9.3
合計	41.8

のための地方債残高は、9・3億円あります。これは近年、各地方公共団体の財政状況が厳しいため、国の地方財政対策として収入不足を避けるために例外的に認められているものです（いわゆる赤字地方債）。

〈実負担は19億円程度〉

さて、残高の41・8億円を光町が単独で負担するわけではありません。

地方債を借り入れるには、できるだけ有利な、つまり借入金を返還する際に国・千葉県などが元金・利子の一定割合を補てんする保障があるものを選んできましたので、町の実際の負担は、残高41・8億円のうち19億円程度です。

例えば、

例1

図書館建設のために借り入れた地方債の残高は、8・4億円ですが、千葉県が



図書館

例2

光中学校建設のために借り入れた地方債の残高は、8・7億円ですが、国がおおむね7割を負担しますので、町の実際の負担は2・6億円程度です。

なお、いわゆる赤字地方債は、そのほとんどが国の負担です。

半分負担しますので、町の実際の負担は4・2億円です。